

学校教育目標

日光市に生まれたことを
誇りに思える児童の育成

- よく考え学ぶ子
- 明るく思いやりのある子
- 進んで体をきたえる子



今市小だより

チーム今小
第8号 令和4年11月24日
発行者 日光市立今市小学校
校長 黒澤 守

TEL 0288-22-0054
FAX 0288-22-0055

夢や希望を実現する学校



友達との信頼関係を深めた修学旅行

10月21日・21日、6年生と修学旅行に行ってきました。3年ぶりの東京・神奈川・千葉方面ということで、これまで2年間のことがいろいろと思い出され、何か特別な感情が沸いてきました。1日目は鎌倉でのグループ行動でした。事前に立てた計画にしたがって古い町並みを散策しながら、歴史と伝統に触れました。計画通りに活動することができたグループもあれば、時間を考えて臨機応変に予定を変えて活動したグループもありました。いろいろでしたが、どのグループも助け合いながら楽しく活動することができました。

2日目は「水の都」と呼ばれるディズニーシーでのグループ行動、最高の天候にも恵まれ、子供たちのテンションも最高潮、そして行動も最高に立派でした。互いに声をかけ合い、相手を気遣いながら活動することができました。どのグループもほぼ予定したアトラクションを楽しみ、食事やお土産の購入もきちんと済ませて集合場所に戻ってきました。とても感心させられました。

2日間という短い時間ではありましたが、今回6年生と一緒に行動し強く感じたことがあります。クラスの雰囲気がとてもよいということです。終始和やかで、何気なく優しい言葉をかけ合う場面を数多く見ることができました。とても心が癒やされる2日間でした。

卒業まで、すでにカウントダウンは始まっています。今回の体験を生かして、さらにバージョンアップを図り、最後まで本校のリーダーとして頑張ってもらいたいと思います。

11月号のトップ記事は、「体力向上」についてです。どうぞ御一読ください。

「運動することが楽しいと感じる子供」の育成を目指して

だいぶ昔の話になりますが、自分が子供のころ、小学校の授業が終わり下校になると、一目散に家に帰り、ランドセルを家に置くや否や学校にとんぼ返りして、校庭で友達とドッジボールや鬼ごっこをして遊んだり、近所の空き地や神社で、缶けりや野球・かくれんぼなどをして楽しんだりしていました。また、近所にあった「駄菓子屋さん」は、子供たちの社交の場でもありました。お小遣いに限りがあるので、毎日行くことはできませんでしたが、少しのお小遣いを握りしめ、わくわくしながらよく行きました。仲間とお菓子の交換をしたり、みんなで食べたりして、いつのまにか周りの子とコミュニケーションがとれていたように感じています。

今のように、1年中活動しているスポーツ少年団などの部活動はなく、ゲーム機もなく、パソコンもなく、当然スマホ（スマートフォン）もありません。子供たちにとって、友達と暗くなるまで外で遊ぶことが、何よりの楽しみでした。楽しくて、ついつい帰りが遅くなり、親に叱られるのが怖くて家の前で30分位立っていたことも思い出されます。とにかく体を動かすことが楽しかったです。

外遊びをするときに、切っても切れないものが「仲間」です。今のように一人で遊ぶゲーム機などはなく、とにかくみんなが当然のように集まり、暗くなるまで遊びました。運動の道具などなくても、あるものを工夫したり、自分で作ったりして間に合わせていました。今のように高価な道具はありませんでしたが、楽しかったです。年上の子は、年下の子のめんどうをみるのは当たり前。いじめっ子がいても、力の強い子が弱い子や年下の子をかばい、いじめっ子をいさめたものです。健全な子供社会がいつの間にか出来上がっていました。誰に教えてもらった訳でもありませんが、何か問題があれば、自分たちで解決していました。ゲームのルールも、遊びの中から自然と覚え、相手の嫌がることはやってはいけないということも、年上の先輩から、いつともなく教えられました。

昔も今も、運動の「得意な子」「苦手な子」はいます。子供を取り巻く環境が大きく変わっても、運動の得意な子は動くことが好きで、楽しいと感じていることが多いと思います。しかし、運動の苦手な子にとっては、動くことが苦痛に感じることもさえます。そんな時に、一人で楽しめるゲームやパソコンなどがあれば、当然楽しい方に流れてしまいます。これが「運動をする子」と「運動をしない子」の二極化につながっていると思います。

小学生のこの時に、運動が得意か不得意かということよりも、「動くことが楽しい」と感じる子供を育成することがとても重要になってきます。また、周りの友だちとの関わりも大きいです。業間・昼休み・体育の授業などでは、みんなで遊んだり運動したりすることにより、「体を動かすことの心地よさ・気持ちよさ・楽しさ」などを感じさせることが大切です。そしてそれが、一人一人の「体力向上」の原点になっていると思っています。「運動することが楽しいと感じる子供」の育成を目指し、日々努力をこれからも重ねていきたいと考えています。



大活躍 今市ブロック陸上競技大会

10月13日(木)、3年ぶりに今市ブロック陸上競技大会が開催されました。最後の最後まで精一杯に記録に挑戦する子供たちの姿は、多くの方々に感動を与えました。

【入賞者一覧】

100M	5年 女子	4位	佐藤 都陽
	6年 男子	2位	手塚 悠斗
		5位	常盤 昂世
	6年 女子	4位	野口 侑杏
1000M	6年 女子	3位	池田 真緒
走り高跳び	6年 男子	3位	藤城 裕斗
	6年 女子	6位	沼尾 ころも
走り幅跳び	6年 男子	3位	手塚 大和
		4位	西岡 勇志
ソフトボール投げ	6年 女子	1位	藤田 幸来
400Mリレー	男子	1位	6年男子 加藤 太空 手塚 大和 手塚 悠斗 常盤 昂世
	女子	3位	6年女子 安西 梨瑚 池田 真緒 野口 侑杏 藤田 幸来



心温まる修学旅行エピソード

【エピソード1】

夕食の時、おかわりをしに来た子供たちの会話です。「それ、おいしいよね。」「うん、私も大好き。」「これ食べてみた? すごくおいしかったよ。」「本当、じゃあ食べてみる。」「…何かいいですね。」

【エピソード2】

ホテルに着いて荷物を整理し、一息ついた時のことです。私が廊下を歩いていると、数名の子供たちが「校長先生の部屋を見せてください。」と駆け寄ってきました。部屋を見せると、「校長先生、この部屋で一人で寂しくないですか。寂しくなったらいつでも来てくださいね。」と、かわいいですね。心が和みました。

【エピソード3】

小町通りでグループ行動をした時のことです。ある子供が友達に、「もっとゆっくり見せてよ。よく見たいよ。」すると友達は、「ごめんね。でも、時間を見て動かないと集合時間に遅れてしまうから。」と言われた本人は、「あ、そうだね。わかったよ。」と、上手に助け合っていました。

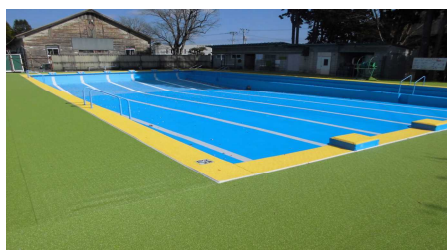
【エピソード4】

浅草の浅草寺にみんなで向かっている時のことです。みんなで青信号になった横断歩道を渡り終えた時、赤信号で止まっていた車の運転手さんに向かって、「ありがとうございます。」と言って、頭を下げている子供がたくさんいました。他県に行っても、すばらしい習慣を發揮していました。

プールが新しく生まれ変わります!

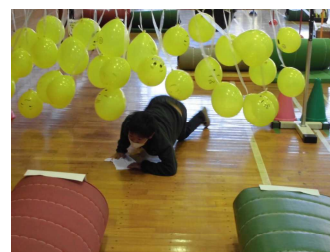
今までかけがえのない夏の思い出を数え切れないほど子供たちに与えてきた今小のプールですが、老朽化に伴い、ペンキ等は剥がれ落ち、水漏れなども絶えませんでした。

しかし、現在、プールの改修工事が行われており、間もなく新しく生まれ変わります。来年が楽しみです。



大成功 オータムスクール!

11月19日(土)、実行委員長の小林芳枝地域コーディネーターさん、PTA本部役員さんを中心に、多数のボランティアの方々の協力を得て、オータムスクールが開催されました。当日は約120名の子供たちが参加し、大変盛り上がりました。



詳しくは、本校ホームページで御覧ください。

12月の主な行事予定

- 1日(木) 委員会活動
- 5日(月) 第5回学力向上コーディネーター訪問
- 6日(火) スクールカウンセラー訪問
- 7日(水) 公開授業・授業参観・PTA全体研修会
第1学年・第3学年親子学習会
第4学年喫煙防止教室(親子学習会)

- 9日(金) 人権擁護委員来校
- 12日(月) 第5学年臨海自然教室 ~14日(水)まで
- 15日(木) 安全点検 租税教室(第6学年)
- 19日(月) 全校交通安全教室
- 20日(火) 邦楽スクールコンサート(第5・6学年)
- 21日(水) 体育集会
- 23日(金) 第2学期終業式